

大豆NEWS!

vol. 149

16年産大豆に係る交付金単価は、8,120円/60kgに決定

16年産大豆に係る交付金単価等を決定しましたので、お知らせします。

決定事項

	平成16年産	(平成15年産)
1 交付金単価	8,120円/60kg	(8,220円/60kg)
2 農業経営基盤強化特別対策	180円/60kg	(180円/60kg)
3 担い手支援・良質大豆生産誘導対策	200円/60kg	(100円/60kg)
	担い手が生産する大豆又は1等・2等の大豆に対して交付。	
4 標準的な生産費として定める金額	13,730円/60kg	(13,837円/60kg)
5 高品質畑作大豆生産の推進	1,000円/60kg	(1,000円/60kg)
	実需者と結びついた契約栽培による生産を推進。	
6 その他	16年産が対策の最終年となっている大豆作経営安定対策について、当面、対策期間を延長。 実需者ニーズに応じた品質評価のあり方と、その交付金制度運用への反映について検討。 大豆加工品の原料原産地表示の検討に当たっては、国産品振興の観点を十分に踏まえる。	

< 解説 >

1 交付金単価、農業経営基盤強化特別対策

交付金単価は、15年産に比べ100円/60kg減の8,120円/60kgに決定しました。

また、農業経営基盤強化特別対策(180円/60kg)については、継続実施することになりました。

2 担い手支援・良質大豆生産誘導対策

担い手が生産する大豆又は1等・2等の大豆に対しては、60kg当たり200円の交付に増額することとなりました。

3 高品質畑作大豆生産の推進

畑作大豆の契約栽培を一層推進するため、15年産に引き続き16年産についても60kgあたり1,000円交付することとなりました。

4 その他

16年産が対策の最終年となっている大豆作経営安定対策については、対策期間を当面延長することとしました。

実需者ニーズに応じた品質評価のあり方と、その交付金制度運用への反映について検討することとしました。

大豆加工品の原料原産地表示の検討に当たっては、国産品振興の観点を十分に踏まえた上で行うことにしました。

《本記事は、農産振興課が作成しました。》

発行：不定期

発行元：農林水産省農産振興課 豆類班 tel 03-3502-8111 (内線 3543、3534) fax03-3502-0869

・記事や大豆生産振興に関する御質問・御感想など、御自由にお寄せください。

・記事を転載される場合は、御一報ください。

・農産振興課では大豆に関する情報発信手段としてホームページを開設していますので、是非ご利用下さい。

なお、大豆ホームページアドレスは <http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/hatashin/daizu/> です。

